

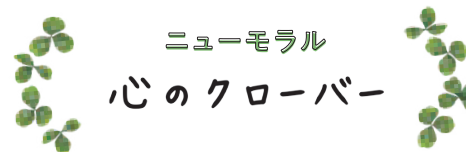


“ 週初めのミーティングで「学び」と「気づき」をシェア ”

毎日の生活の中で
こんなことを意識してみませんか？
メモ欄は週間目標の記入等にご活用ください



社員教育へのご活用は
こちらから



第4週

心の訓練で 道は開ける

私たちは、誰も幸せな人生を送りたいと願っています。そして、人生が順調で平穩に暮らしていけるなら、それに越したことはないと考えられるかもしれません。しかし、それまでどれほど恵まれ、順風満帆であっても、いつ荒波にもまれるか分からないのが人生というもの。 「神様はその人が乗り越えられる試練しか与えない」といわれます。また、「幸福や不幸は心の持ち方によって生じる」ともいわれます。私たちは、逆境の中にあっても、すべての出来事を感謝の心で前向きに受けとめていく「心の訓練」を続けていくことが大切ではないでしょうか。そのような心構えで日々生活していれば、たとえどんな困難に遭遇した場合でも、必ず道は開かれていくものです。



MEMO

メモ

第3週

「内なるモラル」 を発揮する

今、改めて、自分自身の心に問いかけてみましょう。
嘘をついたときのこと。自分の失敗を人のせいにしてしまったときのこと。ルールや約束を破って、人に迷惑をかけたときのこと。損得勘定や自分の都合から仕事の手を抜いたときのこと――。
そんな時、気がとがめ、悲しく寂しい気持ちになったのなら、心の中に道徳心が根付いているのでしょうか。
モラルの実行とは、自分の心に根付いている道徳心に基づいて、勇気を持って行動することをいいます。一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、自分の「内なるモラル」を家庭や職場の中で発揮し続けていくことが、よりよい社会を築くために非常に大切なことなのです。



MEMO

メモ

第2週

目に見えない品性は 無形の財産

学力や財力、権力、技術力などの力は、私たちの生き甲斐や幸せの実現にとって大切なものです。しかし、それらを本当に活用し、自分や他人や社会に役立つさせるものは、その人の品性（徳）であると考えています。
品性は人格の中心にあって、それらを生かす根源的な力です。そして、高い品性とは、自分のことだけにとらわれない柔軟な心で、相手を真に思いやることのできる「広い心」であるともいえるでしょう。それは、数値で表されるものではありません。形としては目に映らないものなのです。
このように、目に見えない品性（徳）こそが、私たちの大きな無形の財産となるのです。



MEMO

メモ

第1週

道徳の持つ力を 理解しよう

野球でも、ゴルフでも、華道でも、名人になればなるほど、その道は奥が深く、まだまだ先があると思っているものです。ところが、道徳は完成した状態を前提にしているため、すぐに完全な姿を求めてしまう傾向にあります。道徳の実行において、完成ということはありませんが、少しでも進歩・向上すれば、それだけの喜びと価値があります。
哲学者のソクラテスは、正しいことを真に理解すれば、必ずそれを実行に移していくはずで、人間が悪いことをするのは、良いことを本当に知らないからだ、と言っています。私たちの希望に対して道徳がどれだけ大きな力を持っているかを十分に理解できれば、もっと道徳の力を使う人が増えていくでしょう。



MEMO

メモ

Illustration by Kyoko Kishi